

# 県立三島病院での救急医療を守ろう

## 県は、県立中央病院の医師を県立三島病院に配属すべき



県立三島病院の民間移譲は、誰もが『公募』の「絶対条件」として疑わなかった三島病院での二次救急医療が確保できないことがほぼ確実となっています。当初、県知事ですら二次救急の確保を口にしており、そのためには民間移譲が最善の策とまで説明していました。

また、四国中央市の救急搬送の実態は、2007年度の実績で3,056件中661件は市外に搬送している実態が報告されています。実に21.6%におよび、すでに5人に1人は四国中央市内の医療機関に受け入れることができず、市外や県外に搬送している実態が浮かび上がっています。

これまで県は、これらの原因をことあるごとに県立病院での「医師不足」としてきました。しかし、県立病院全体の常勤医師数は着実に増加しています。2004年度と2009年度との比較から、県の意図的な県立三島病院つぶしとも言える医療再編の流れを読み取ることができます。病院縮小・廃止対象の県立2病院の医師は引き上げ、県立中央病院に集中していることが明確となっています。医師不足の中でも、県立病院全体での医師数は26人純増し、県立中央病院では、38人ももの医師が増えています。直ちに、県立三島病院での救急医療を確保するため配置転換すべきです。

### 県立中央病院で医師38人増加、県立三島病院は医師8人減少でいいのか

出所：愛媛新聞記事 2009年11月17日付

病 院	常勤医師数(人)		増減	増減率
	2004年4月1日	2009年10月1日		
県立三島病院	17	9	▲8	▲47.1%
県立新居浜病院	36	37	+1	+2.7%
県立今治病院	40	42	+2	+5.0%
県立中央病院	119	157	+38	+31.9%
県立南宇和病院	18	11	▲7	▲39.9%
合 計	230	256	+26	

2009/12 発行②

県立三島病院を守る会  
〒799-0431 四国中央市寒川町 2912-1  
生協宇摩診療所内 TEL0896-25-0114

